



平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 昭和シェル石油株式会社

コード番号 5002 URL <http://www.showa-shell.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役グループCOO (氏名) 新井 純

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理財務統括部長 (氏名) 吉岡 勉

TEL 03-5531-5591

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	2,147,291	11.7	65,362	—	65,985	—	45,769	—
24年12月期第3四半期	1,922,004	△7.5	△291	—	△2,431	—	△9,098	—

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 47,522百万円 (—%) 24年12月期第3四半期 △8,454百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年12月期第3四半期	121.53	—
24年12月期第3四半期	△24.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第3四半期	1,214,833	310,607	23.5
24年12月期	1,233,193	273,783	20.3

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 286,011百万円 24年12月期 249,826百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年12月期	—	9.00	—	9.00	18.00
25年12月期	—	18.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	2,950,000	12.2	77,000	423.9	77,000	507.5	54,000	—	143.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期3Q	376,850,400 株	24年12月期	376,850,400 株
② 期末自己株式数	25年12月期3Q	228,231 株	24年12月期	227,342 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期3Q	376,622,735 株	24年12月期3Q	376,623,778 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在における情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、当社グループ(当社及び連結子会社、以下同様)の業績は、経済情勢や市場動向並びに為替レートの変動等の要因により記載の予想数値とは異なる結果となる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項については、四半期決算短信【添付資料】4 ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 5
3. 四半期連結財務諸表	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 9
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 10
(4) セグメント情報	P. 10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成25年1月1日～平成25年9月30日)におけるわが国の経済は、政府が打ち出した緊急経済対策などを背景に個人消費や公共投資は年初より底堅く推移し、設備投資や企業の生産活動に持ち直しの動きがみられました。さらに、春以降は米国景気が底堅さを増すなか、為替レートの高修正が進展したこともあって、輸出も緩やかに持ち直していきました。物価動向に関しても、長らく継続してきたデフレ状況が解消されつつあり、国内景気は全体として回復局面にありました。

原油価格を取り巻く国際情勢については、年初は好調な米国の暖房油需要や経済指標を反映して需要拡大の観測が高まりましたが、春先からは一転して新興国経済の成長鈍化などを背景に後退に向かいました。夏場にかけては、シリア情勢の緊迫化と米欧による同国への軍事介入観測をめぐり、中東地域全体の供給懸念について注目が集まりました。

代表的な指標原油価格であるドバイ原油価格は、年初1バレル108ドル台で始まったのち、一旦は114ドルに達したものの、2月中旬より下落に転じ、4月には一時96ドルまで下落しました。以後、夏場にかけて再度113ドルまで上昇したのち、9月には反転し、104ドル台で当第3四半期を終えました。

(原油価格、為替レートの状況)

	ドバイ原油 (ドル/バレル)	為替レート (円/ドル)	為替レート (円/ユーロ)
平成24年12月期 第3四半期連結累計期間	109.6	79.4	101.7
平成25年12月期 第3四半期連結累計期間	105.0	96.9	127.5
増 減	△4.6	+17.5	+25.8

※各数値は該当期間の平均値によります。

このような経営環境の下、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績については、売上高2兆1,472億円(前年同期比11.7%増収)、営業利益653億円(前年同期比656億円の増益)、経常利益659億円(前年同期比684億円の増益)となりました。なお、たな卸資産評価の影響等を除いた場合の連結経常利益相当額については340億円となり、前年同期に比して314億円の増益となりました。

各セグメントの業績は、次の通りです。

① 石油事業

当社グループの石油製品の販売状況は、国内経済に持ち直しの動きがみられるなか、特に春以降は軽油など中間留分の販売が堅調に推移したものの、電力各社が石炭や天然ガスを燃料とする火力発電用の稼働を高めたことによるC重油販売の低迷もあり、結果として国内販売数量は前年同期を下回りました。一方、国内石油製品の需給環境は年初の冷え込みや円高是正による輸出の増加などにより、総じて緩みなく推移しましたが、激しい国内競争環境のもと、春から夏の油価下落局面で特に採算の低下がみられたことなど、マージンは厳しい状況で推移しました。

このような状況の下、石油事業の売上高は2兆424億円(前年同期比9.4%増収)、営業利益は540億円(前年同期比399億円増益)となりました。また、たな卸資産評価の影響を除いた場合の営業利益相当額は221億円(前年同期比30億円の増益)となりました。

② エネルギーソリューション事業

太陽電池事業については、引き続き旺盛な国内需要を背景に大型プロジェクトへの製品供給も進展し、生産量を上回るペースでC I S 薄膜太陽電池の出荷が続いています。7月には、当社ラインナップの中で過去最高出力(170W)となる「SF170-S」、薄膜系というC I S 技術の強みを最大限生かしてスマートフォン並みの薄さと軽さ、美しさを同時に実現した「Solacis neo (ソラシス・ネオ)」の2製品を発表しました。さらに、施工時間の大幅な短縮を実現するクロスワン工法という新たな工法を取り入れた住宅用架台を発表し、国内住宅市場におけるシェアの拡大に取り組んでいます。生産面では、主力の国富工場にて生産されるC I S 薄膜太陽電池の製品出力は順調に向上し、第3四半期には稼働開始以来で最大の生産量を達成しました。また、休止していた宮崎第2工場も7月より稼働を再開し、当第4四半期には前出の「Solacis neo (ソラシス・ネオ)」の生産を開始する予定です。

電力事業については、グループ内発電所が安定して稼働しており、複数の販売チャネルを通して電力供給を実施することで、需給ギャップの解消に貢献しました。また、8月には当社旧京浜製油所扇町工場跡地に木質バイオマス燃料とする火力発電所を建設することを決定し、平成27年12月の稼働に向けて取り組みを開始しています。

これらの結果、エネルギーソリューション事業の売上高は986億円(前年同期比107.9%増収)、営業利益は102億円(前年同期比258億円の増益)となりました。

③ その他

その他に関しては、売上高は62億円、営業利益10億円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、1兆2,148億円となり、前連結会計年度末に比べ183億円減少しました。

負債は、9,042億円となり、前連結会計年度末に比べ551億円減少しました。なお、有利子負債（長期・短期借入金、コマーシャル・ペーパー及び社債の合計）残高は2,688億円となり、前連結会計年度末に比べ31億円増加しました。

また、純資産は、前連結会計年度末に比べ368億円増加して3,106億円となりました。これは主に当第3四半期連結累計期間における純利益等の増加要因が配当金の支払等の減少要因を上回ったことによるものです。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は23.5%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年12月期通期連結業績予想（平成25年1月1日～平成25年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,880,000	70,000	70,000	48,000	127.44
今回修正予想 (B)	2,950,000	77,000	77,000	54,000	143.38
増減額 (B) - (A)	70,000	7,000	7,000	6,000	—
増減率 (%)	2.4	10.0	10.0	12.5	—

通期の連結業績予想については、前回公表時（平成25年8月6日）の予想を上記の通り修正します。

石油製品のマージンが縮小しているものの、原油価格が前回公表時の想定より上昇する実勢であることから、たな卸資産評価の影響（増益効果）が増大し、平成25年12月期通期における営業利益、経常利益及び当期純利益は前回予想を上回る見通しです。

たな卸資産評価の影響を除いた場合の連結経常利益相当額につきましては、平成25年12月期通期で450億円程度となる見込であります。

なお、上記見通しは、年度平均のドバイ原油価格105ドル/バレル、為替レート97円/ドルを前提としています。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,175	17,819
受取手形及び売掛金	377,552	311,658
商品及び製品	152,362	180,236
仕掛品	1,985	3,565
原材料及び貯蔵品	123,141	153,825
その他	38,699	36,565
貸倒引当金	△591	△317
流動資産合計	711,325	703,353
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	103,422	100,799
機械装置及び運搬具(純額)	147,409	133,856
土地	157,735	157,519
その他(純額)	22,096	25,867
有形固定資産合計	430,662	418,041
無形固定資産		
投資その他の資産	10,532	10,934
その他	81,344	83,182
貸倒引当金	△672	△679
投資その他の資産合計	80,672	82,503
固定資産合計	521,867	511,480
資産合計	1,233,193	1,214,833
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	336,884	312,657
短期借入金	65,933	104,746
未払金	172,522	132,805
未払法人税等	6,604	18,141
引当金	2,363	4,138
コマーシャル・ペーパー	26,000	30,000
その他	71,989	64,401
流動負債合計	682,297	666,892
固定負債		
社債	20,000	10,000
長期借入金	138,794	114,131
退職給付引当金	74,493	74,045
特別修繕引当金	15,890	13,999
その他	27,933	25,157
固定負債合計	277,111	237,334
負債合計	959,409	904,226

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	34,197	34,197
資本剰余金	22,113	22,113
利益剰余金	193,250	228,849
自己株式	△184	△185
株主資本合計	249,375	284,974
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	325	842
繰延ヘッジ損益	125	194
その他の包括利益累計額合計	450	1,036
少数株主持分	23,957	24,596
純資産合計	273,783	310,607
負債純資産合計	1,233,193	1,214,833

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	1,922,004	2,147,291
売上原価	1,825,788	1,984,253
売上総利益	96,215	163,038
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	28,414	29,713
人件費	26,439	26,033
その他	41,652	41,928
販売費及び一般管理費合計	96,506	97,676
営業利益又は営業損失(△)	△291	65,362
営業外収益		
受取利息	127	108
受取配当金	993	493
為替差益	—	230
持分法による投資利益	—	959
匿名組合投資利益	1,141	1,305
貸倒引当金戻入額	499	248
その他	1,112	1,218
営業外収益合計	3,874	4,564
営業外費用		
支払利息	3,210	3,126
為替差損	470	—
持分法による投資損失	1,086	—
その他	1,246	814
営業外費用合計	6,015	3,941
経常利益又は経常損失(△)	△2,431	65,985
特別利益		
固定資産売却益	1,441	866
補助金収入	1,819	4,341
その他	363	498
特別利益合計	3,624	5,706
特別損失		
固定資産処分損	1,367	2,078
投資有価証券評価損	1,344	22
減損損失	382	598
その他	1,189	318
特別損失合計	4,284	3,018
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△3,091	68,672
法人税、住民税及び事業税	2,909	21,544
法人税等調整額	2,227	243
法人税等合計	5,137	21,787
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△8,228	46,885
少数株主利益	869	1,115
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△9,098	45,769

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△8,228	46,885
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25	412
繰延ヘッジ損益	△225	69
持分法適用会社に対する持分相当額	△25	155
その他の包括利益合計	△226	636
四半期包括利益	△8,454	47,522
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△9,328	46,356
少数株主に係る四半期包括利益	873	1,166

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	石油事業	エネルギー ソリューション事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,867,758	47,425	1,915,183	6,820	1,922,004	—	1,922,004
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,548	3,939	10,488	3,034	13,522	△13,522	—
計	1,874,307	51,364	1,925,672	9,854	1,935,526	△13,522	1,922,004
セグメント利益又は損失 (△)	14,114	△15,631	△1,516	1,240	△275	△15	△291

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産、建設工事、自動車用品の販売及びリース業等を含んでおります。

2. セグメント利益調整額△15百万円は、セグメント間取引消去です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	石油事業	エネルギー ソリューション事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,042,435	98,617	2,141,052	6,239	2,147,291	—	2,147,291
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,670	11,828	19,498	2,236	21,735	△21,735	—
計	2,050,105	110,445	2,160,551	8,475	2,169,026	△21,735	2,147,291
セグメント利益	54,080	10,243	64,323	1,054	65,377	△15	65,362

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産、建設工事、自動車用品の販売及びリース業等を含んでおります。

2. セグメント利益調整額△15百万円は、セグメント間取引消去です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。